



社会福祉協議会情報

# ふれあい

## 福智町社会福祉協議会

- ・ こんなことやってきました  
平成24年度 事業報告 ————— 2
- ・ 平成25年度事業計画 ————— 4
- ・ 平成25年度一般会計予算 ————— 7
- ・ 社協からのお知らせ ————— 8

### 子どもボランティア教室 (5月18日)

国際車いすテニス大会の交歓会を前に会場である金田体育館の周辺をきれいにしました。世界に向けてきれいな福智町をピーアール。子ども39人参加。



# 平成24年度 福智町社会福祉協議会では こんなこと、やってきました!!

※主な事業の抜粋

## キーポイント 1 人づくり

- ◎福祉入門教室の開催（10月）
  - ・災害とボランティア
  - ・福智町の現状
  - ・地域で支え合うまちづくり

3回シリーズ  
78人参加

- ◎小中学生ボランティア教室の開催（5月）
  - ・国際車いすテニス大会清掃活動

42人参加

322人参加

- ◎認知症サポーター養成講座の開催  
認知症を理解し、認知症の人や  
家族を見守るサポーターの育成

17ヶ所で実施  
計408人受講

- ◎住民福祉講座の開催（2月）
  - ・心のふれあい～いつまでも若々しく  
(津川雅彦氏)



## キーポイント 2 地域の支え合いづくり

- ◎ふれあい交流の実施（月1回）  
月1回地域の集会所で  
高齢者の方が交流（町と共催）

48ヶ所で実施  
延べ約7300人参加

担当者の派遣  
延べ599人、711件

- ◎地域支え合い体制づくり事業
  - ・第2期モデル地区 7地区  
要支援者マップの作成、防災マップの作成  
防災・防犯対策、介護予防 などの取り組み

第1期9地区  
第2期7地区

- ◎金田在宅介護支援センター事業  
金田地区・赤池(一部)地区の  
要支援者の安否確認、実態調査  
などの支援

第1回 140人参加  
第2回 322人参加



10地区で開催  
175人が参加

- ◎支え合いのまちづくりシンポジウム（12月、2月）  
山崎安則教授による基調講演  
モデル地区の活動報告  
地域包括ケアへの取り組み

- ◎介護予防教室の開催  
地域の集会所において、運動・口腔・栄養  
・認知などの教室（3ヶ月・12回）を開催

## キーポイント 3 相談・情報

相談件数 78件

- ◎心配ごと相談の実施（毎月3回）
  - 第1木曜……赤池地区
  - 第2木曜……方城地区
  - 第3土曜……金田地区
- 民生委員・人権擁護委員・保護司  
・行政相談員・司法書士など

- ◎社協情報ふれあいの発刊（8月、1月）
- 社協だよりきずなの発刊（毎月）

14回発行

8人利用

- ◎視覚障害者への情報提供（毎月）
- 朗読ボランティア「青い鳥」さんの協力のもと  
町広報誌や社協情報誌をCDに録音し配布

## キーポイント 4 福祉の環境づくり

- ◎介護レスキュー事業の実施
- 介護保険では利用できない  
サービスへのヘルパー派遣

63件実施

年間利用数  
延べ 64984人

- ◎福祉バス運行事業
- 小型バス5台により運行

206人利用  
年間 59530食

- ◎食の自立支援事業
- ひとりぐらし高齢者などへの弁当の配達  
栄養の管理と安否確認にも

- ◎子育てサロン日本語教室（月2回）
- 福智町在住の外国人を対象とした生活支援  
と日本語習得のための授業

- ◎サマースクールかえるの学校（夏休み）
- 小学生1～3年生を対象とした夏休み中の学童保育

46人参加

延べ 77人参加



- ◎障がい児夏期休暇サポート事業（夏休み）
- 夏休み中の障がい児と家族のための学童保育

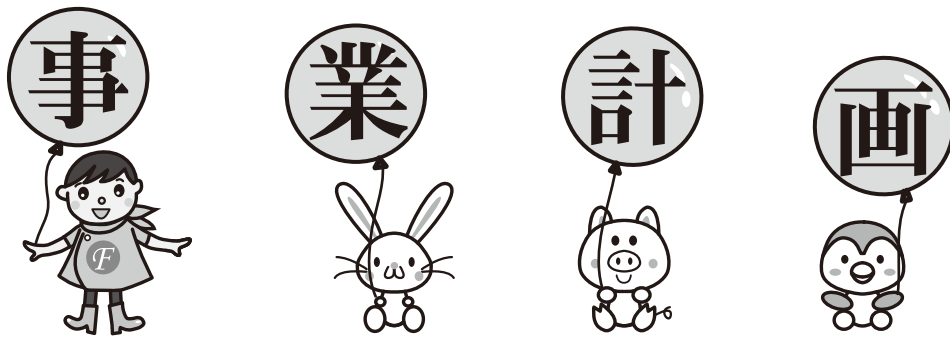
延べ 207人利用  
ボランティアスタッフ 延べ 241人

パーティーに39名参加  
カップル5組成立

- ◎結婚相談事業の実施（月3回）
- 結婚アドバイザーによる結婚相談
- ・7月 婚活パーティー開催



# 平成25年度 福智町社会福祉協議会



## 基本構想

信頼と親しみのある身近な福智町社会福祉協議会をめざして  
～ 共に歩む福祉のパートナー ～

東日本大震災という未曾有の大災害から2年。今なおその復旧には困難をきたしています。多くの方が犠牲となり、自然災害の恐ろしさと地域の絆の大切さがあらためて浮き彫りとなり、福智町においても「人権と福祉のまちづくり総合計画」や地域福祉活動計画を基盤とした「地域支え合い体制づくり事業」に鋭意取り組んでいます。

平成25年度は地域福祉活動計画の見直し年度であり、今までの取り組みの反省をもとに、平成27年度の計画終了時での目標が達成できるよう見直しをおこないながら取り組んでまいります。また、平成25年4月に介護事業の要となる地域包括支援センターが田川市から福智町へ移管されました。この地域包括支援センターは、将来的には各制度間の垣根を取り払った横断的な取り組みを可能とする自立支援センター構想の出発点であり、中核の組織です。社会福祉協議会も地域包括支援センターと連携し、地域包括ケアの推進に取り組んでまいります。

また、社会福祉協議会は、住民を主体に地域を活動のフィールドとして、地域福祉の推進を担っていく責務があります。そのためには、社会福祉協議会が住民や行政等から信頼され親しみをもって協働して取り組める環境や立場を築いていくことが地域福祉をスムーズに進めていくための重要な要素となります。平成25年度においては、孤立・孤独や認知など、地域において複雑・多様化する福祉課題について、関係機関が一体となって取り組むための共通認識をもち、その解決への方向性を明らかにする方策を検討してまいります。

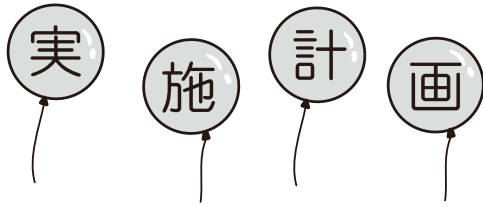
## 基本理念

1. ふれあう福祉のまちづくり (共生)
2. 参加する福祉のまちづくり (主体性)
3. 支えあう福祉のまちづくり (協働)

## スローガン

あなたは一人ではない。あなたを一人にしない。  
私は一人ではない。私は一人では生きられない。  
～ 支えられつつ支える側にも ～

主 (住民主体)  
人 (人権尊重) ガきらめくステージ (福智町) へ  
公 (公民協働)



## 1. 法人機能の強化と財政健全化計画の遂行

- ①理事会・評議員会の開催
- ②部会・委員会の開催
- ③定例三役会の開催
- ④監査会の開催
- ⑤行政懇談会の開催
- ⑥課長会及びプロジェクト会議の開催
- ⑦職場改善委員会の開催
- ⑧賛助会員の募集
- ⑨寄付金の募集
- ⑩財政健全化計画の遂行
- ⑪共同募金運動の拡充
- ⑫居宅介護支援事業の実施
- ⑬訪問介護事業の実施
- ⑭障がい者自立支援事業の実施
- ⑮葬祭事業の実施
- ⑯目標管理、人事考課制度の研究と労務・税務管理の法令順守の徹底
- ⑰地域福祉活動計画の見直し
- ⑱新会計基準への移行

## 2. 人権と福祉意識を携えた人づくり

- ①役職員研修会の開催
- ②各種研修会参加による自己研鑽と資格取得の推進及び支援
- ③職員育成プログラムの実施
- ④人権・同和問題に関する意識の向上及び取り組み
- ⑤福祉教育プログラム実施の基盤整備
- ⑥福祉教育読本の配本
- ⑦福祉入門教室の開催
- ⑧ボランティア養成講座の実施及び支援
- ⑨ボランティアの募集とボランティアコーディネート機能
- ⑩ボランティア連絡協議会への支援
- ⑪小中学生ボランティア事業の開催
- ⑫住民福祉講座の開催
- ⑬認知症サポーター養成講座の開催
- ⑭キャラバンメイト（講師）スキルアップ研修の開催
- ⑮ハートフルキーパーの育成支援
- ⑯福祉・介護等の人材登録

### ⑪小中学生ボランティア事業の開催

小中学生のボランティア意識の向上を目的に開催し、福祉に対する意識を醸成させるような取り組み（清掃活動、バリアフリーについての学習、障がい者の理解と福祉用具の体験など）を行います。

### ⑫住民福祉講座の開催

ギネスに登録され世界最高齢となられた皆川ヨ子さんを輩出した福智町において、福祉や健康への意識付けを行い、さらなる住民の健康と福祉意識の高揚を図るために開催します。

### ⑬認知症サポーター養成講座の開催

認知症に対して正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を養成します。また養成講座の講師であるキャラバンメイトの養成も行います。

### ⑮ハートフルキーパーの育成支援

各地域における小地域（30世帯から50世帯）を基準に、地域の支え合い活動の担い手となるハートフルキーパーの設置・育成を進めていきます。

## 3. 地域における新たな支え合いのネットワークづくり

- ①ふれあい交流事業の充実と拡充
- ②地域支え合い体制づくり事業の実施（※次頁参照）
- ③緊急カプセル配布事業の実施
- ④保健・医療・福祉実務者連絡会議（サポーター会議）の開催
- ⑤災害時ボランティアセンターの設置及び被災者支援の取り組み
- ⑥金田在宅介護支援センター事業の実施と連携
- ⑦人権と福祉のまちづくり総合計画推進会議への参画と協力
- ⑧緊急通報システム（行政）利用者への支援
- ⑨地域包括支援センター、関係機関・団体との連携

※②地域支え合い体制づくり事業の実施

地域支え合い体制づくり事業では下記のことに取り組みます。

- ・見守り支援ネットワークづくり (☞)
- ・民間企業による見守り支援協定の締結
- ・地域防災マップの作成 ・介護予防事業の実施
- ・要支援者訪問事業の実施
- ・支え合いのまちづくりシンポジウムの開催
- ・地域ケアシステムの共同研究  
(東京医科歯科大・九州大チーム、福岡県立大)

☞見守り支援ネットワークづくりでは、行政区を単位とした地域で、要支援者の把握、見守りの体制づくり、防犯防災の地域づくりなどを中心として、モデル地区を指定しながら取り組みを行っています。

## 4. 相談・情報提供を総合的に支援する仕組みづくり

- ①総合相談窓口設置に向けての協議
- ②心配ごと相談事業の実施
- ③広報委員会の設置
- ④社協情報誌「ふれあい」の発刊
- ⑤社協だより「きずな」の発行
- ⑥社内報「ほうれんそう」発行による情報の共有化
- ⑦視覚障がい者への情報提供の推進 (録音CDによる情報提供)
- ⑧ホームページによる情報の発信と掲示板による相談機能

### ②心配ごと相談事業の実施

月3回、赤池支所・方城分館・金田社会福祉センターにて行っています。第3土曜日には司法書士による特別相談も行っています。

### ⑦視覚障がい者への情報提供の推進

朗読ボランティア青い鳥のご協力のもと、広報ふくち・社協情報ふれあい・きずななどを音声訳し、そのCDを視覚障がい者等に配布しています。

## 5. 生活ニーズに対応した福祉環境づくり

- ①介護レスキュー事業 (緊急時の日常生活支援事業) の実施
- ②食の自立支援事業 (配食サービス) の実施
- ③福祉バス運行事業の改善と充実
- ④生きがいデイサービス事業の実施
- ⑤軽度生活支援事業の実施
- ⑥移送サービス事業の実施
- ⑦福祉施設管理運営事業の実施 (赤池コスモス保健センター《ボイラー・浴室関係のみ》・金田社会福祉センター)
- ⑧子育てサロン日本語教室事業の実施
- ⑨生活福祉資金貸付事業の協力
- ⑩フレンドシップミーティング (障がい児交流) の実施
- ⑪サマースクール「かえるの学校」の実施
- ⑫在宅介護者リフレッシュ事業の実施
- ⑬障がい児夏期休暇サポート事業の実施
- ⑭地域ケア会議 (地域包括支援センター) への支援と参画
- ⑮自立支援センター設置プロジェクト参画
- ⑯ファミリーサポートセンターの試験的実施の継続
- ⑰結婚相談事業の実施

### ①介護レスキュー事業

介護保険等の制度では対応できない緊急な家事支援や入院における手続き、洗濯等の支援などの生活支援に対し、ヘルパー等を派遣します。

### ④生きがいデイサービス事業

介護保険に該当しない方で必要と認められる方を対象とした介護予防事業です。閉じこもり防止や生きがいの創造を目的として行っています。

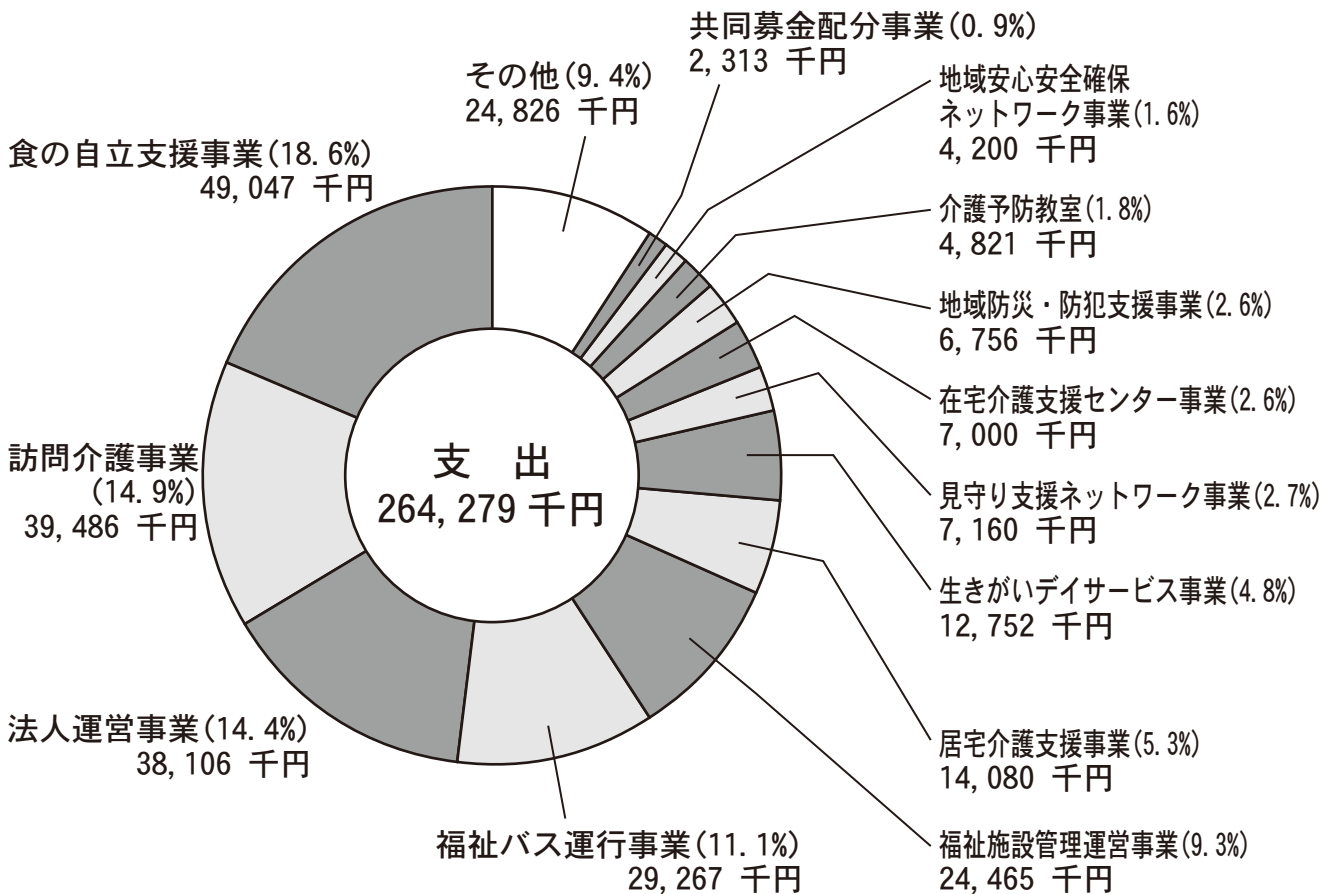
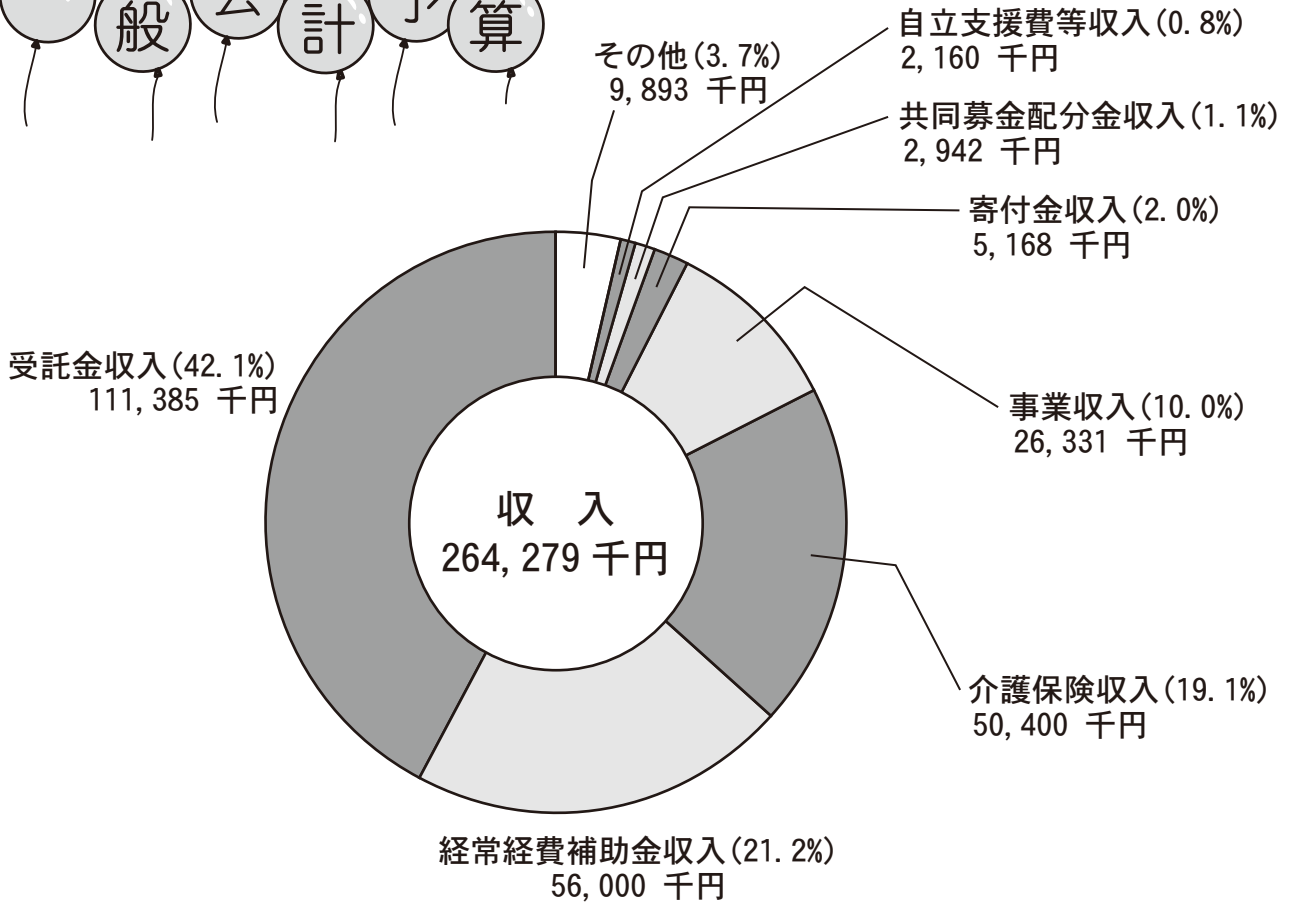
### ⑯ファミリーサポートセンターの試験的実施の継続

地域の中で「子育ての手助けをしてもらいたい人」と「子育てのお手伝いをしたい人」を結び付け、地域ぐるみの子育て支援を目指すものです。

### ⑰結婚相談事業の実施

少子高齢化対策、福智町ふるさと再生の一環として、男女を結び付ける結婚相談のアドバイザーを配置して行います。

一 般 会 計 予 算





## 障がい児夏期休暇サポート事業

### ボランティア大募集！！

福智町社会福祉協議会では、夏休み（7月29日～8月24日）に障がい児を対象とした夏期休暇サポート事業をおこないます。

本事業に参加する小学生から高校生までの障がいのある子どもたちと一緒に楽しく過ごしてくれるボランティアを募集しています。



対 象：大学生以上

開催日：平成25年7月29日～8月24日

活動日：開催期間中の何日でも結構です

時 間：8：30～17：00（応相談）

場 所：福智町金田保健センター

申込み・問い合わせ：地域福祉課 22-3778

## 見守りネットワーク 協定事業所 募集

福智町社会福祉協議会では、地域支え合い体制づくり事業の一環として、見守りネットワーク協定事業所を募集しております。

これは、日ごろ配達・販売・窓口業務などで住民の方と接する機会のある事業所の皆さまにご協力をいただき、高齢者や障がい者、子どもなどの異変に気付いた場合、社会福祉協議会に連絡をいただくことによって、社協は関係機関と連携し対応・支援をおこなっていきます。



### 見守り ネットワーク

多くの事業所の皆さまのご協力で、町ぐるみの支え合いの体制をつくりましょう！！

6月10日現在の協定済事業所（順不同・敬称略）

郵便事業株式会社伊田支店

郵便局株式会社 金田郵便局、方城郵便局

吉田環境整備有限会社 筑豊衛生環境有限会社

有限会社伊藤清掃 有限会社佃清掃

西日本新聞エリアセンター金田方城

読売新聞・読売センター赤池 堺の米屋

佐川急便株式会社

申込み・問い合わせ：地域福祉課 22-3778

## ファミリーサポート事業をご利用ください

### あなたの子育て応援します

- ・冠婚葬祭で子どもの面倒がみられない
- ・病院に行くときに一緒に連れていけない
- ・たまには気分転換がしたい

などで子どもをあずかってもらいたいと思ったことはありませんか？ ファミサポ事業では、子育てサポーター養成講座を修了した「まかせて会員」さんが、あなたの子どもを預かります。



対象の子どもは6ヵ月～小学6年生です。

初めてご利用の方は、会員登録、オリエンテーション、事前の顔合わせ等がありますので、1週間前までにご連絡ください。

利用料金 月～金 AM6:00～PM8:00 1時間500円

土・日・祝日・年末年始・上記以外の時間帯 1時間800円

申込み・問い合わせ：地域福祉課 22-3778



赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございます。本誌は共同募金の配分金によって作成されています。

## 社会福祉協議会情報 ふれあい 第20号

平成25年7月発行

編集・発行 福智町社会福祉協議会 地域福祉課

所在地

〒822-1201 福岡県田川郡福智町金田1154番地2

TEL: 0947-22-3778 FAX: 0947-22-6678

ホームページ <http://wel-fukuchi.net/>